



【ワンヘルスとの関連性】

柱5:健康づくり

キャンプファイヤー



1 活動のねらい

コミュニケーション能力	自分のことは自分でする	何事も最後までやり遂げる	リーダー性	自己をふり返り、集団を見つめ直す	自然に親しみ、環境について考える
○			◎	◎	

2 概要



炎を囲みながら、ゲーム・歌・ダンス・出し物などを通して連帯感や友情を深めます。楽しい思い出をつくりながら、研修の振り返りや自己を見つめる時間にしましょう。事前に参加者が内容やセリフを考えることで、活動がより充実します。

3 対象及び活動形態

 小学生～成人 200名程度

4 活動の流れ(例)

準備	30分
1部	20分
2部	内容に応じて
3部	15分
片づけ	30分

・薪組み、役割の確認、物品貸し出し
・リハーサル[17:00まで]

迎え火のつどい

交歓のつどい
(ゲーム、歌、ダンス、出し物等)
内容は参加者で工夫しましょう。

送り火のつどい

消火(完全に!) 片づけ・清掃
※ 場合によっては、片づけ・清掃は翌朝行う。



ポイント

セレモニーとして行う場合は、1・3部は厳粛な雰囲気で行うようにしましょう。

迎え火・送り火の仕方は様々ですが、活動の雰囲気や研修の目的に合った内容になるように工夫しましょう。

5 準備物

『青年の家』音響機器(マイク2本・CDラジカセ・屋外アンプ)

『団体』トーチ、灯油(500ml程度)、軍手、薪(食堂で注文可能)、燃えにくい服装(綿性)

6 キャンプファイヤー実施までにしておくこと・・・係の選出と台詞の決定・確認・練習

【参考】役割分担例と必要人数(必要に応じて調整してください)

役割分担例(人数)	第1部	第3部
責任者(1):成人	司会の補助と安全管理を行う	
火の神(1):成人	はじめの言葉	静火・まとめの言葉
ファイヤーキーパー(2):成人	事前の井桁組みと実施時の火勢の保持及び安全管理をする	
音響(1):成人	プログラムに合わせて音響を担当する。	
司会(2)	プログラム全体の司会進行を行う	
火の守(最大8)	井桁への点火・誓いの言葉	
献詩(2)	詩の朗読	